

報告日 平成23年11月29日

報告者 広域化グループ 西山

報告書

会議名 第1回災害廃棄物受入の検討に係る県及び3政令市打ち合わせ
日時 平成23年11月29日(火) 10:30~11:30
場所 新庁舎 5階 新庁応接室
出席者 横浜市施設課 足立原課長、赤松管理係長
川崎市処理計画課 國府田課長、石原担当係長
相模原市廃棄物政策課 長嶋課長、中村主任
廃棄物指導課 吉田課長
清掃施設課 今村課長
神奈川県資源循環課 太田課長、新井グループリーダー、西山主査
廃棄物指導課 小嶋グループリーダー

標記打合せの内容については以下のとおりであった。

1 検討会の趣旨について

- ・ 本検討会の趣旨について、説明を行った。

2 意見交換

- ・ 災害廃棄物の受け入れるに当たり、最終処分のあり方について検討を行った。
- ・ 神奈川県における災害廃棄物の受入に当たっての条件を国に提出することについて検討した。
- ・ 今後の会議の中で、災害廃棄物を受け入れていくさいの受入態勢やルール作りを進めていくことを確認した。
- ・ 東京都の先行事業を参考に、災害廃棄物の受入に当たって必要となる事項を整理した。
- ・ 国の示した基準を基にして、災害廃棄物の受入に向けたルール作りを進めることを確認した。
- ・ 処理に係る費用については、財源を国負担とすることについて検討した。

今後も定期的に会議を開催して4者で進めていくこととした。

(以上)

報告日 平成23年12月26日

報告者 広域化グループ 鈴木

件名：第2回災害廃棄物受入の検討に係る県及び3政令市打ち合わせ

日時：平成23年12月19日（月）15時～17時

場所：新庁応接

参加者：横浜市施設課	足立原課長、赤松管理係長、渡辺設備係長
川崎市処理計画課	正道寺課長補佐、戸井田氏
相模原市廃棄物政策課	長嶋課長、中村主任
清掃施設課	今村課長
神奈川県資源循環課	新井グループリーダー、鈴木技師
廃棄物指導課	小嶋グループリーダー

1 統一的处理方法の検討について、

災害廃棄物を県内で受け入れるさいの統一的处理方法について、検討を行った。

- ・ 災害廃棄物を受け入れる地域については、広域処理ガイドラインの記載に従い、岩手県及び宮城県を対象とすることを確認した。
- ・ 受け入れる災害廃棄物の条件として、放射性物質濃度100Bq/kg以下とすることが検討され、受入条件を満たす地域から受け入れることを確認した。
- ・ 受け入れる災害廃棄物の放射性物質濃度の測定方法について検討を行った。
- ・ 災害廃棄物の放射性物質濃度の測定に当たり、遮蔽線量率を測定することで代替することが提案され、検討を行った。
- ・ 遮蔽線量率の測定を行う場合、受入条件に合致することを確認するために情報収集を行うことが提案された。
- ・ 災害廃棄物の処理に必要な予算は、被災地を通じて国に求償していくことを確認した。
- ・ 受入可能な災害廃棄物の種類について調整を行い、各団体で実情に応じた検討を行うこととした。
- ・ 受け入れる廃棄物を分別することにより、受入自治体の負担が軽減されるなどの情報提供があった。
- ・ 災害廃棄物の被災県からの輸送方法について検討を行った。
- ・ 本県に輸送したさいの空間線量率は、各施設ではなく貨物駅で一括して測定することが提案され、検討した。
- ・ 焼却施設では、これまで各市で行ってきたモニタリングを継続し、安全性の確認を行うことを確認し、測定方法については、国の基準に基づいて行う

報告日 平成24年1月6日
報告者 広域化グループ 鈴木

報告書

件名：第3回災害廃棄物受入の検討に係る県及び3政令市打ち合わせ

日時：平成24年1月6日（金） 9：30～12：00

場所：神奈川県新庁舎5階 新庁応接室

出席者：横浜市施設課 足立原課長、赤松管理係長
川崎市処理計画課 國府田課長、石原担当係長
相模原市廃棄物政策課 長嶋課長、中村主任
清掃施設課 今村課長、後藤技師
神奈川県資源循環課 太田課長、新井グループリーダー、鈴木技師
廃棄物指導課 小嶋グループリーダー

標記打ち合わせの内容については以下のとおりであった。

1 挨拶

大田資源循環課長から挨拶した。

2 統一的処理方法の検討について

- ・ 県から、統一的処理方法について説明した。
- ・ 処理対象廃棄物について、受入可能な性状及び処理困難物などの受入できない廃棄物について検討した。
危険物等は被災県で分別し、神奈川県に運び込まないことを確認した。
- ・ 受け入れる災害廃棄物の放射性物質濃度を100Bq/kgとすることについて、東京都の事例を参考に意見交換を行い、放射性物質濃度の確認方法について検討した。
- ・ 災害廃棄物を輸送する際に適切なコンテナを確保する必要性があるということについて確認した。
- ・ 受入の前に災害廃棄物に含まれる危険物や塩分濃度、試験焼却等の事前調査について検討を行い、記載することとした。
- ・ 被災県での分別の工程について、組成分析や放射能測定の作業を行いやすくするための案について検討した。
- ・ 災害廃棄物の処理に必要な予算については、被災県を通じて国に求償していくことを確認した。

- ・ 県から、災害廃棄物の焼却灰の最終処分については、かながわ環境整備センターでの処分を基本とすることを説明した。
- ・ かながわ環境整備センターでの受入に関し、フレコンバッグでの搬入等について各市と意見交換を行った。
- ・ 最新の広域処理ガイドラインで、焼却施設で安全に処理できる排ガス処理設備が更新されたため反映することとした。

3 統一的な受入条件について

統一的な受入条件について、県から説明した。

4 県内での災害廃棄物の受入にかかる実施体制について

災害廃棄物の受入にかかる実施体制について、県から説明した。

- ・ 災害廃棄物の処理に係る予算については、被災自治体を通じて国に求償していくことを確認し、国に対しては予算措置に対する理解を求めていくこととした。

5 次回について

次回会議について、11日に開催するとした。

以 上

報告日 平成24年1月16日

報告者 広域化グループ 鈴木

報告書

件名：第4回災害廃棄物受入の検討に係る県及び3政令市打ち合わせ

日時：平成24年1月11日（水） 15：00～17：30

場所：神奈川県新庁舎5階 新庁応接室

出席者：横浜市施設課 足立原課長、渡辺設備係長
資源政策課長 松野担当課長
川崎市処理計画課 正道寺課長補佐、戸井田氏
相模原市廃棄物政策課 長嶋課長、中村主任
清掃施設課 今村課長
神奈川県資源循環課 太田課長、新井グループリーダー、鈴木技師
廃棄物指導課 小嶋グループリーダー

標記打ち合わせの内容については以下のとおりであった。

1 知事現地視察について

- ・ 県から、知事の現地視察の結果について説明した。

2 統一的な処理方法について

- ・ 統一的処理方法について、前回会議からの変更点の説明を行った後、内容について検討した。
- ・ かながわ環境整備センターの受入の基準（案）について検討した。
- ・ かながわ環境整備センターへの搬出方法を、市の処分場への搬出方法と同一にしてはどうかという提案があった。
- ・ 最終処分がネックとなるため、かながわ環境整備センターについて整理できなくては結論を出すことが難しいことを確認した。
- ・ かながわ環境整備センターでの受入の際の、飛散防止等に係る考え方を示すよう要望があった。
- ・ 地元住民に対しては、県から安全性を積極的に説明するよう要望があった。
- ・ 県内での受入体制について、災害廃棄物の安全性の担保の面から、県が被災地での放射能濃度測定などについて主導的に行い、各市は焼却を行うというスキームにするよう提案があった。
- ・ 災害廃棄物の放射能検査や処理に係る国の財源措置について発言があり、

国に理解を求めていくことを確認した。

- ・ 放射能測定について県が取りまとめを行い、安全性を担保した災害廃棄物を持っていくことで、各自治体が参加しやすくなるのではないかとの提案があった。
- ・ スキームについて、東京都のスキームとの違いなどについて意見交換を行った。

3 次回会議について

次回会議は平成24年1月13日（金）に行うこととした。

以上

報告日 平成24年1月18日

報告者 広域化グループ 鈴木

報告書

件名：第5回災害廃棄物受入の検討に係る県及び3政令市打ち合わせ

日時：平成24年1月13日（金） 9：30～12：00

場所：神奈川県新庁舎5階 新庁応接室

出席者：横浜市施設課 足立原課長、渡辺設備係長
資源政策課 松野担当課長
川崎市処理計画課 國府田課長、石原担当係長
相模原市清掃施設課 今村課長
廃棄物政策課 中村主任
神奈川県資源循環課 太田課長、新井グループリーダー、鈴木技師

標記打合せの内容については以下のとおりであった。

- 1 統一的処理方法への3市の意見に対する回答について
 - ・ 前回会議で3市から出された意見について、県の考え方を説明した。
- 2 統一的処理方法について
 - ・ 災害廃棄物受入の体制について提案があり、内容について検討を行った。
 - ・ 県から、かながわ環境整備センターでの受入基準（案）について、考え方を説明した。
 - ・ 各市から、かながわ環境整備センターでの受入基準（案）について、修正してほしい旨の要望があった。
 - ・ 各市から、かながわ環境整備センターへの搬出方法を、市の搬出方法と同一にしてはどうかという提案があった。
 - ・ 県内で想定する災害廃棄物の処理に係る国への財源措置を確認する必要性を指摘する意見があった。
 - ・ 焼却灰の放射能濃度の測定について、これまでの各市が行ってきた測定結果を考慮すること及び遮蔽線量率を活用することが提案された。
 - ・ 焼却施設周辺の住民の安全性を考え、速やかに最終処分を行い、安全性を確保する体制について検討した。
 - ・ 各市から、かながわ環境整備センター周辺の住民に対する情報提供を積極

的に行い、理解を求めてほしい旨の要望があった。

- ・ 受け入れる災害廃棄物は100Bq/kg以下で安全としているから、焼却灰についても安全であることを説明してほしい旨の要望があった。
- ・ 統一的な処理方法については、4者で一定程度の合意ができた段階で県民に広く意見を聴取するということを確認した。

3 次回会議について

次回会議については平成24年1月19日（木）に開催することとした。

以上

報告日 平成24年1月19日

報告者 広域化グループ 鈴木

報告書

件名：第6回災害廃棄物受入の検討に係る県及び3政令市打ち合わせ

日時：平成24年1月19日（木） 13：00～15：00

場所：神奈川県新庁舎5階 新庁応接室

出席者：横浜市施設課 足立原課長、渡辺設備係長
資源政策課 松野担当課長
川崎市処理計画課 國府田課長、石原担当係長
相模原市廃棄物政策課 長嶋課長、中村主任
清掃施設課 今村課長、後藤技師
神奈川県資源循環課 太田課長、新井グループリーダー、鈴木技師
廃棄物指導課 小嶋グループリーダー

標記打合せの内容については以下のとおりであった。

1 挨拶

太田資源循環課長から挨拶した。

2 統一的処理マニュアルについて

- ・ 事前調査の内容について、廃棄物資源循環学会の実証実験の内容を参考に意見交換を行った。
- ・ 受け入れた災害廃棄物の焼却灰の最終処分先について意見交換を行った。
焼却灰の最終処分先については、今後、4者の状況にあわせて整理していくことを確認した。
- ・ かながわ環境整備センターへの焼却灰の受入条件について、前回会議に引き続き意見交換を行った。

3 災害廃棄物の受入態勢について

- ・ 災害廃棄物の受入態勢について意見交換を行った。
- ・ 受入態勢として、処理に関する基本協定を締結することについて意見交換を行った。

県が総合的な調整を担うことを決定し、新たに災害廃棄物の受入に参加す

る市町村が増えた場合の拡張性を確保した体制を構築することとした。

- ・ 被災県から神奈川県への災害廃棄物の運搬の集約することにより、コンテナの共用を図り、効率的に運搬することとした。
- ・ 受け入れる災害廃棄物については、効率等の観点から、同一地域が望ましいということを確認した。
- ・ 処理及び放射能検査に関する経費の求償方法について意見交換を行った。

3 その他

- ・ 今後のスケジュールや、地元合意の考え方について意見交換を行った。

次回会議については、平成24年1月26日（木）に開催することとした。

以上

報告日 平成24年1月31日

報告者 広域化グループ 鈴木

報告書

件名：第7回災害廃棄物受入の検討に係る県及び3政令市打ち合わせ

日時：平成24年1月26日（木） 9：30～11：45

場所：神奈川県新庁舎5階 新庁応接室

出席者：横浜市施設課	足立原課長、渡辺設備係長
資源政策課	松野担当課長
川崎市処理計画課	國府田課長、石原担当係長
相模原市廃棄物政策課	長嶋課長、中村主任
清掃施設課	今村課長、後藤技師
神奈川県資源循環課	新井グループリーダー、鈴木技師
廃棄物指導課	赤松副技幹

標記打合せの内容については以下のとおりであった。

1 環境大臣の神奈川県知事訪問について

- ・ 平成24年1月25日の細野環境大臣の黒岩神奈川県知事訪問について、県から報告した。
- ・ 県知事から環境大臣に対し、予算及び住民理解への協力について要望した。

2 統一的処理方法について

- ・ 受け入れた災害廃棄物の焼却灰の最終処分先について意見交換を行った。焼却灰の最終処分先の整理が、災害廃棄物を受け入れにあたって必要であることを確認した。
- ・ 災害廃棄物の放射性物質濃度が100Bq/kg以下であることを担保する方法について検討した。
今後、放射性物質濃度を担保する方法について、処理方法に記載することとした。
- ・ 災害廃棄物の処理に当たり必要となる経費について意見交換した。
次回までに各団体で必要となる経費について検討することとした。
- ・ 廃棄物の処理にかかる経費については、国に求めていくことを確認した。
- ・ 住民への説明方法、時期等について意見交換した。
- ・ 被災県から本県への、災害廃棄物の輸送方法について検討した。

- ・ 災害廃棄物の焼却灰の処理方法について意見交換した。

次回会議については、平成24年2月初旬に開催することとした。

以上

報告日 平成24年2月17日
報告者 広域化グループ 鈴木

報告書

件名：第8回災害廃棄物受入の検討に係る県及び3政令市打ち合わせ

日時：平成24年2月15日（水） 13：30～16：00

場所：神奈川県新庁舎5階 新庁応接室

出席者：横浜市施設課	足立原課長
資源政策課	松野担当課長、山本担当係長
産業廃棄物対策課	関川課長
川崎市処理計画課	國府田課長、石原担当係長
廃棄物指導課	大竹課長、高内課長補佐
相模原市廃棄物政策課	長嶋課長、中村主任
廃棄物指導課	吉田課長
清掃施設課	今村課長
神奈川県資源循環課	太田課長、新井グループリーダー、 小野崎技師、鈴木技師
廃棄物指導課	山崎担当課長、赤松副技幹

標記打合せの内容については以下のとおりであった。

- 1 かながわ環境整備センターの調整状況について
県から芦名町内会との調整状況について説明があった。
- 2 統一的処理マニュアルについて
 - ・ 受入れる災害廃棄物の放射能濃度の測定について意見交換を行った。
 - ・ 放射能濃度の測定には時間がかかることなどの問題点が指摘され、今後も検討することとした。
 - ・ 災害廃棄物の処理にかかる経費について意見交換を行った。
 - ・ 事前調査及びモニタリングでは放射能のみでなく、アスベスト等の有害物質の測定に対する必要性が指摘された。
 - ・ 災害廃棄物の受入の際の処理手数料については、処理原価を基に請求することとした。
 - ・ アスベストなどについても、別途マニュアルを作成することとした。

- ・ 災害廃棄物処理で、民間の産廃業者を活用することの可能性を検討した。
- ・ 産廃業者の活用に関する検討は、市町村施設による処理と平行して検討することとした。
- ・ 産廃業者の活用を検討するに当たり、法政令市である横須賀市を次回会議から呼ぶこととした。
- ・ かながわ環境整備センターでの最終処分の方法について意見交換を行った。
- ・ 受入れる災害廃棄物について、塩分濃度の測定も必要ではないかという指摘があった。

次回会議については翌週を目途に開催することとした。

以 上

報告日 平成24年3月8日
報告者 広域化グループ鈴木

報告書

件名：第9回災害廃棄物受入の検討に係る県及び3政令市打ち合わせ

日時：平成24年3月8日（木） 9：30～12：00

場所：神奈川県新庁舎4階 408会議室

出席者：横浜市施設課	足立原課長
資源政策課	松野担当課長
川崎市処理計画課	國府田課長、石原担当係長
相模原市廃棄物政策課	長嶋課長、中村主任
清掃施設課	今村課長、後藤技師
横須賀市資源循環総務課	加藤課長、山本主任
神奈川県資源循環課	新井グループリーダー、小野崎技師、 鈴木技師
廃棄物指導課	山崎担当課長、赤松副技幹

○ 打合せの内容については以下のとおりであった。

- ・ 現地での災害廃棄物の放射性物質濃度の測定方法について検討した。
- ・ 各受入施設への災害廃棄物の運搬方法について検討を行った。
- ・ 試験焼却に必要となる条件について検討を行った。
- ・ 試験焼却にかかる経費について、国に求めていくこととした。

以 上

報告日 平成24年3月31日
報告者 広域化グループ 鈴木

報告書

件名：第10回災害廃棄物受入の検討に係る県及び3政令市打ち合わせ

日時：平成24年3月21日（水） 13：30～15：30

場所：波止場会館4階 大会議室

出席者：横浜市資源政策課	木村課長、松野担当課長
川崎市処理計画課	國府田課長、石原担当係長
相模原市清掃施設課	今村課長
廃棄物政策課	中村主任
横須賀市資源循環総務課	山本主任
神奈川県廃棄物指導課	山崎担当課長、赤松副技幹
資源循環課	新井グループリーダー、小野崎技師、鈴木技師

標記打合せの内容については以下のとおりであった。

- 1 他都県市における受入態勢について
 - ・ 他の自治体における受入態勢について、情報交換を行った。
 - ・ 女川町への視察について、情報交換を行った。
- 2 マニュアルについて
 - ・ 災害廃棄物の放射性物質濃度の測定方法について、検討を行った。
 - ・ 有害物質の測定について、検討した。
 - ・ 試験焼却について、検討を行った。
 - ・ 被災地からの運搬方法について、検討を行った。

次回会議については、来週中に開催することとした。

以 上

報告日 平成24年3月31日
報告者 広域化グループ 小野崎

報告書

件名：第11回災害廃棄物受入の検討に係る県及び3政令市打ち合わせ
日時：平成24年3月29日（木） 15:00～12:00
場所：神奈川県本庁舎地下1階 014会議室
出席者：横浜市施設課 足立原課長、渡辺係長
 資源政策課 木村課長、松野担当課長
川崎市処理計画課 國府田課長、正道寺課長補佐、石原担当係長
 施設課 野田課長補佐
相模原市廃棄物政策課 長嶋課長、中村課長
 清掃施設課 今村課長、後藤技師
横須賀市環境総務課 加藤課長、山本主任
神奈川県廃棄物指導課 山崎担当課長、赤松副技幹
 資源循環課 新井グループリーダー、小野崎技師、
 鈴木技師

標記打合せの内容については以下のとおりであった。

1 マニュアルについて

- ・ 環境省からの要請文について、意見交換を行った。
- ・ 放射性物質濃度の測定方法について検討を行った。
- ・ 現地での有害物質の測定方法及び対策について検討を行った。
- ・ 通常ごみに対する災害廃棄物の混合焼却の比率について、意見交換を行った。
- ・ 災害廃棄物の輸送方法について、検討を行った。
- ・ 試験焼却について、東京都の先行事例について意見交換を行った。
- ・ 試験焼却時の有害物質の測定等について検討を行った。
- ・ 現地への視察について、意見交換を行った。

次回（平成24年度第1回）の日程は後日調整することとした。

以上